

令和7年度第1回防府市環境審議会 会議概要	
1 開催日時	令和7年10月14日（火） 午前10時から午前11時30分まで
2 場 所	防府市役所 本館2階共用会議室
3 出席者	<p>【委員】</p> <p>中尾委員、今井委員、今村委員、山縣委員、木戸委員、若林委員、高沢委員、田中委員、岡村委員、小松委員、橋口委員、山田委員、阿部委員、養島委員、弘中委員、藤井委員</p> <p>（欠席委員：日高委員）</p> <p>【事務局】</p> <p>生活環境部：亀井部長、池田部次長</p> <p>環境政策課：桃井課長、岡本補佐、原田補佐、河野係長、宗岡係長、富重</p>
4 傍聴者	なし
5 内 容	<p>1 議事</p> <p>（1）会長及び副会長の選任について</p> <p>（2）防府市（第3次）環境基本計画の進捗について</p> <p>（3）防府市（第3次）環境基本計画の令和8年度中間見直しについて</p> <p>（4）その他の報告事項</p>
<p>6 会議内容</p> <p>※表現の一部は、簡略化している。</p>	<p>1 議事</p> <p>（1）会長及び副会長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長に中尾委員、副会長に今井委員が選出された。</li> </ul> <p>（2）防府市（第3次）環境基本計画の進捗について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から「資料1－1」、「資料1－2」により、計画の概要、進捗の説明〔質疑応答〕</li> </ul> <p>A委員：「資料1－1」の7ページ。「低炭素・脱炭素の推進」の目標が達成されたときの二酸化炭素削減量の計算値を示せるとよい。</p> <p>事務局：検討課題としたい。</p> <p>B委員：7ページ。「次世代自動車の導入台数」の中間目標をすでに達成しているが、今後はどうするのか。</p> <p>事務局：令和8年度の計画中間見直しで、最終目標の数値変更の検討を行う。</p> <p>B委員：10ページ。「光化学オキシダントの環境基準超過日数（年間）」、「騒音に係る環境基準の達成率」、「公共下水道整備率」の目標は達成可能か。</p> <p>事務局：光化学オキシダントと騒音の目標達成は、現状では難しいと考えているが、環境基準は、国が早期に達成されることを目指した望ましい基準と定めているので、計画では最終目標を100%としている。下水道整備率は、公共下水道事業計画で示している予定処理区域の面積に対する整備した面積のことを指す。</p> <p>B委員：他市で道路陥没の事故が起きている。本市の下水道設備の老朽化について状況を確認したい。</p> <p>事務局：担当部局に審議会で質問があったことを伝えておく。</p>

C委員：10ページ。「公共下水道整備率」と「合併処理浄化槽設置基数」の関係の説明を求める。

事務局：公共下水道事業計画区域外で、合併処理浄化槽設置整備事業を行っている。

D委員：6ページ。二酸化炭素排出量については記載があるが、吸収量の試算の検討は行っているか。

事務局：林野庁が示す算定方法を参考に、試算が可能か担当部局と検討中。可能であれば、次回以降の審議会で示したい。

E委員：6ページと8ページ。「ごみ排出量」と「リサイクル率」の定義を記載してほしい。

事務局：資料1-1には記載がないが、資料1-2の環境基本計画には記載がある。

E委員：家庭系ごみと事業系ごみの排出量を比べると、事業ごみ排出量は減少していない。事業者に対する指導や周知を強化していくのか。

事務局：家庭系ごみ排出量の減少は、ごみに含まれる水分量を減らすよう啓発した成果だと考えている。事業者に対しては指導や周知に引き続き取り組んでいく。

E委員：プラスチックによる海洋汚染への対策を検討してほしい。

事務局：プラスチック資源一括回収等の取組をすすめていく予定である。

### (3) 防府市（第3次）環境基本計画の令和8年度中間見直しについて

- ・事務局から「資料2-1」、「資料2-2」により、本市を取り巻く状況の変化、改訂の方向性、今後のスケジュールの説明

#### 〔質疑応答〕

E委員：生物多様性を推進する施策はどういったものが考えられるか。

事務局：外来動植物の被害予防の啓発や希少な野生生物の保護対策の推進等を考えている。

E委員：基本施策の見直し方針案について確認したい。

事務局：6つの基本施策の体系は変えず、それぞれの「取組の方針」と「進捗管理指標」の見直しの検討を行う予定である。

E委員：「取組の方針」にある取組のなかで、顕著な改善があったものがあれば紹介してほしい。

事務局：令和8年度の中間見直しに向けてまとめておく。

D委員：温室効果ガスの排出削減について、環境基本計画の53ページ以降に「家庭や事業所でできる取組の例と年間CO<sub>2</sub>削減量」の記載がある。国が「デコ活」を推進しているなか、この箇所の記載についても見直しが必要ではないか。

事務局：見直しを検討する。

E委員：環境意識調査の市民区分の有効回収率が前回から下がっている。このような回収率になった要因で考えられるものはあるか。

事務局：今回から郵送とあわせ、オンラインによる回答も可としたが、現在のと

ころ特に要因として考えられるものはない。

F 委員：進捗管理指標のなかに、防府市の市民・事業者・行政の努力だけでは目標達成が難しいものがある。中間見直しで、指標の設定について再検討を行ってはどうか。

事務局：貴重な意見として承る。

G 委員：目標数値や進捗管理指標の達成につながる具体的な指標や、その指標達成のための手法やスケジュールが計画のなかで示されていると良い。

事務局：貴重な意見として承る。

E 委員：一人ひとりの行動の積み重ねが、市の二酸化炭素排出量削減の目標達成につながる事が分かるような計画作成に挑戦してほしい。

事務局：ご意見やご指摘いただいた点を踏まえて、中間見直しに取り組んでいく。

#### （４）その他の報告事項

- ・事務局から「資料３－１」により、防府市役所環境保全率先実行計画の進捗の説明

〔質疑応答〕

A 委員：市有施設に設置の太陽光発電設備で発電した電気を全て自家消費しているのであれば、発電した電力の使用電力に占める割合を示すとよい。

事務局：次回以降、説明資料に加えることを検討する。

H 委員：太陽光発電設備の廃棄はどう考えるか。

事務局：現在国が検討をすすめているので、今後、示されるものと考えている。